

「グローバルな視点で見るマンガ・アニメとは？」(模擬授業:東京都立第四商業高等学校、令和6年12月19日)

東京都立第四商業高等学校1年生を対象にした模擬授業。マンガ・アニメの日本語の定義、英語での定義を紹介し、あまりにも違うことをまず示し、その違いが異文化理解につながることを明らかにした。また、Isekaiが今年、正式に英語に登録されたことを受けたことで、英語の定義も紹介した。なぜ、日本では「異世界」ものがはやり、欧米ではこうしたジャンルがないのか。これも宗教や文化の違いによるもので日本では輪廻転生が文化背景にあることから、こうした作品群が誕生した。ただし、最近是非生物に転生するものまで登場し、その多様化は想像を超えていることも紹介。その後日本独特のジャンルとして『美少女戦士セーラームーン』を代表に「戦闘美少女」がありこれも異文化理解の観点から取り上げた。また、暴力シーンや過激なシーンのため海外でTV放送できない『DEATH NOTE』『進撃の巨人』『東京喰種』などを紹介した。マンガやアニメを子どもを対象に考える欧米との違いを明確にした。あとは時間の許す限り、原作マンガから実写ドラマ、映画化の作品の紹介とその問題点、映像が観光につながる聖地巡礼などについても時間の許す限り紹介した。